J-Forest

白神森林組合だより

2021.7
Vol.42

■発行／白神森林組合　〒016-0814 能代市能代町字中川原33-45　Tel.0185-54-9300　Fax.0185-54-9302　E-mail:shirakami@shiramori.or.jp　HPアドレス http://www.shiramori.or.jp

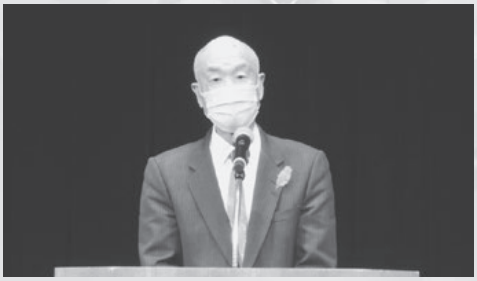
「新緑の峨瓏の滝」（藤里町）

白神森林組合

本・支所名	電話番号
本所	0185－54－9300
能代支所	0185－54－7402
八峰支所	0185－77－2132
三種支所	0185－84－2030
藤里支所	0185－79－1562
二ツ井支所	0185－73－2938
木材流通センター	0185－59－2605

CONTENTS

P２……総代会～組合長あいさつ
P３……総代会～提出議案
P４……総代会～事業計画
P５……総代会～損益計算書・計画，外
P６……木材共販結果・市況動向
P７……中国木材 能代進出・ドローン導入
P８……林業コンクール・新入技能職員の紹介


金野組合長のあいさつ

第27回通常総代会は、５月26日、能代市文化会館中ホールにおいて開催されました。

昨年に引き続き、新型コロナウィルス感染予防対策のため、書面による議決権行使をお願いし、実出席者27名という少数での開催になりましたが、響地区の吉岡和男総代を議長とし、全議案原案通り可決承認されました。

第27回　通常総代会

あいさつ

代表理事組合長　**金野忠徳**

第二十七回通常総代会に当たり、ご挨拶申し上げます。

昨年に続き、今年の総代会も新型コロナの関係で総代の皆様には大変ご迷惑をおかけしております。

また、ご来賓の招待もできず寂しい総代会の開催となりました。

そのコロナも、世界中に広まり未だに終息の兆しが見えません。

このような状況がいつまで続くかは、現在のところ見通しが付かない有様です。

このようなこともあって、令和二年度の事業計画は大分狂いまして、四～九月までは丸太の受け入れ態勢が止まり素材生産が出来ませんでした。

その影響もあり、販売部門は計画対比で七〇％となり、三億三七〇〇万円の取扱高となりました。

一方その分、森林整備と利用部門は計画対比一四五％の二億九二〇〇万円となりました。素材生産で減った分を保育事業でカバーした訳であります。

後程担当の課長から詳しく説明をしてもらいます。

次に令和三年度の事業計画についての基本的な考えを申し上げます。

先ずコロナはまだ続くものと考えています。

このような現状を踏まえ、保育部門を重点的に考えた計画となっております。

具体的には、秋田県の大きな課題であります、新植再造林についてであります。

現在秋田県の民有林では、年間一三〇〇haを皆伐していますが、その後の再造林は三〇〇ha程度しか新植されていません。

その大きな理由は、所有者負担が大きいからだと考えております。

その対策として、当組合では、所有者負担分を組合で助成しておりますので、組合員の皆様は、自己負担ゼロで再造林を実施することが可能となります。

これは秋田県内では、当組合が初めてであり全国的にも殆ど例がないと思います。

次に中国木材の能代進出についても少し触れたいと思います。

議長　吉岡和男氏（二ツ井町響地区）

既に新聞などで報道されている通りでありますが、この全国一の製材工場が能代にくることで、米代川流域の林業は大きく発展し、山元にもお金が回り、雇用に関しても、一五〇人もの人が県外にいかず地元にとどまるとなれば、地域経済に与える影響も相当あると思っているところであります。

二五〇億円の工場の建設などに三年近くかかるようですが、地元にとっては、近年にない大プロジェクトであると思っています。

終わりになりますが、今年も先程申し上げました通り、かなり変化に富んだ年となると思われますが、組合員や総代の皆さんの協力を得ながら、計画した事業を無災害で遂行できるよう精一杯努力してまいりますので、宜しくお願いを申し上げ開催の挨拶といたします。

提出議案

議案第１号　令和２年度業務報告書の承認について
：別紙の通り承認願いたい。

議案第２号　令和３年度事業計画書の決定について
：別紙の通り決定願いたい。

議案第３号　令和３年度一組合員に対する貸付金の最高限度について
：一組合員に対する貸付金の最高限度を500万円に決定願いたい。
ただし、森林組合財務処理基準令第３条に基づく農林水産大臣の指定する貸付金を除く。

議案第４号　令和３年度借入金の最高限度について
：令和３年度における借入金の最高限度を３億円に決定願いたい。

議案第５号　令和３年度理事及び監事の報酬決定について
１．令和３年度における理事の報酬は、14名で総額7,908千円とし、各理事の報酬額についてはその範囲内において理事会に一任する。
２．令和３年度における監事の報酬は、３名で総額984千円とし、各監事の報酬額についてはその範囲内において監事会に一任する。

議案第６号　令和３年度債務保証の最高限度について
：令和３年度における本組合の債務保証の最高限度を5,000万円に、一組合員の債務に対する債務保証の最高限度を500万円に決定願いたい。

議案第７号　余裕金の預入先金融機関について、次のとおり決定願いたい。
：農林中央金庫秋田支店、あきた白神農業協同組合管内各支店、秋田やまもと農業協同組合管内各支店、秋田銀行管内各支店、北都銀行管内各支店、みちのく銀行能代支店。

議案第８号　出資配当金の増資について
：令和２年度出資配当金を令和３年度において、本組合に増資することを決定願いたい。

議案第９号　退任役員に対する慰労金の支給について

議案第10号　定款の一部改正について（別紙１）

附帯決議事項

１．決議事項中、行政庁の認可承認等を必要とするものについて、総代会決議の内容を変えない字句等の変更は理事会に一任する。
２．年度途中で事業計画の一部について軽微な変更を要するに至ったときは、理事会で計画の変更ができることを承認する。

令和３年度　事業計画

新型コロナウイルス感染症は、新年度に入ってからも猛威をふるい、大都市では第４波に入っていると言われており、秋田県においても、一部地域でクラスターが発生するなど、今後も予断を許さない状況にあると強い危機感を感じております。

当組合の令和３年度の事業についてですが、新型コロナウイルスの影響がまだまだ続くものと考えており、事業計画の柱は、秋田県の課題でもある「再造林」を含む、森林整備事業を中心として事業展開して参ります。

組合員の森林整備の柱である、造林補助事業の取扱計画は、前年比１３４％とし、部門全体でも、前年比１１２％を見込んでおります。逆に、素材生産事業を含む販売部門については、木材価格や需給状況を見極めながらの実施となるだろうと予測し、前年比86％の計画としております。

森林経営管理制度に関しては、経営管理状況調査、境界調査等で、前年比１７５％の事業を見込んでおります。

又、今年度の公的機関の利用につきましては、森林管理署、秋田県・管内各市町のほか、森林研究・整備機構及び秋田県林業公社からの森林整備事業及び木材の買取等の入札に参加し、地域の負託に応えて参ります。

令和３年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大により、引き続き厳しい年になるだろうと覚悟しておりますが、このような状況下でも、職員・技能職員の雇用を守りつつ、業績向上に精一杯努力して参りますので、特段のご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。

指導部門

組合員研修会、地区座談会を通じ、組合員の皆様からの意見・要望に的確に対応致します。

「造林（植栽）促進助成費」を継続強化し、組合員負担ゼロでの植栽事業を目指し、管内再造林率向上へ貢献します。

販売部門

素材生産のコスト低減に一層取り組み、組合員の皆さまの林業収入アップに繋がるよう努め、「伐って・植えて・育てる」森林資源の循環利用を推進して参ります。

森林整備部門

昨年度に引き続き、補助金を活用して再造林を積極的に推進し、所有者負担ゼロを目指して森林資源の循環利用を進めて参ります。

森林経営管理制度については、所有者配置図を作成して森林の管理状況を確認する「経営管理状況調査」、現地立会等により所有界を調査する「境界調査」等を今年度も計画している市町があることから、林政アドバイザーの資格を有する職員が積極的に協力し、管内森林情報の精緻化に努めて参ります。

令和２年度 損益計算書
令和３年度 損益計画

・・・令和２年度　損益計算書・・・

令和２年４月１日から令和３年３月31日まで　（単位：千円）

科目	小計	合計
Ⅰ 事業総損益		
1 事業総収益	759,206	
2 事業総費用	576,387	
事業総利益		182,819
Ⅱ 事業損益		
1 人件費	107,038	
2 旅費交通費	1,600	
3 事務費	864	
4 業務費	2,425	
5 諸税負担金	3,166	
6 施設費	19,995	
7 雑費	1,261	
事業管理費計		136,349
事業利益		46,470
Ⅲ 経常損益		
1 事業外収益	5,668	
2 事業外費用	1,458	
事業外損益		4,210
経常利益		50,679
Ⅳ 特別損益		
1 特別利益	0	
2 特別損失	19	
特別損益		▲ 19
税引前当期利益		50,679
法人税、住民税及び事業税額		▲15,139
当期剰余金		35,540
前期繰越剰余金		6,274
当期未処分剰余金		41,814

・・・令和３年度　損益計画・・・

令和３年４月１日から令和４年３月31日まで　（単位：千円）

科目	小計	合計
Ⅰ 事業総損益		
1 事業総収益	748,523	
2 事業総費用	604,664	
事業総利益		143,859
Ⅱ 事業損益		
1 人件費	78,576	
2 旅費交通費	3,338	
3 事務費	2,401	
4 業務費	5,131	
5 諸税負担金	6,479	
6 施設費	22,902	
7 雑費	1,751	
事業管理費計		120,578
事業利益		23,281
Ⅲ 経常損益		
1 事業外収益	2,154	
2 事業外費用	590	
事業外損益		1,564
経常利益		24,845
Ⅳ 特別損益		
1 特別利益	0	
2 特別損失	10,000	
特別損益		▲10,000
税引前当期利益		14,845
法人税、住民税及び事業税額		▲ 6,400
当期剰余金		8,445
前期繰越剰余金		7,527
当期未処分剰余金		15,972

令和２年度　剰余金処分案

（単位：千円）

科目	内訳	小計	合計
Ⅰ 当期未処分剰余金	当期剰余金 繰越剰余金	35,540 6,274	
	計		41,814
Ⅱ 剰余金処分額			34,287
1 法定準備金	当期剰余金の5分の1以上	30,000	
2 任意積立金			
3 出資配当金	出資額の2％	4,287	
4 事業分量配当金			
Ⅲ 次期繰越剰余金			7,528

※　次期繰越剰余金中、教育情報資金は、2,100千円である。

組合員数及び出資金（R3.3.31現在）

（単位：人、口、千円）

資格区分	組合員数	出資口数	出資金額
	人	口	千円
正組合員	4,310	214,117	214,117
准組合員	13	362	362
合計	4,323	214,479	214,479

（注意）端数処理の関係で、合計が一致しない場合があります。

白神木材流通センター木材共販結果及び市況動向

直近開催の木材共販結果（第378回、入札日：令和３年６月１日）

★出品材積：1,403㎥　★売払材積：1,403㎥

★販売金額：15,858千円　★平均価格：11,284円／㎥

★共販参加者：12社　★販 売 者：７社　★販売率：100％

径級別単価の詳細

（単位：円）

径級範囲（㎝）	１㎥単価				石単価
	安　値	高　値	平　均	前月比	平　均
10～14					
16～22	—	12,898	12,898	↑	3,583
24～28	14,510	14,533	14,521	↑	4,034
30～34	13,007	13,051	13,033	↑	3,620
36～44	11,412	11,211	11,334	→	3,148
46～	—	12,073	12,073	↑	3,354

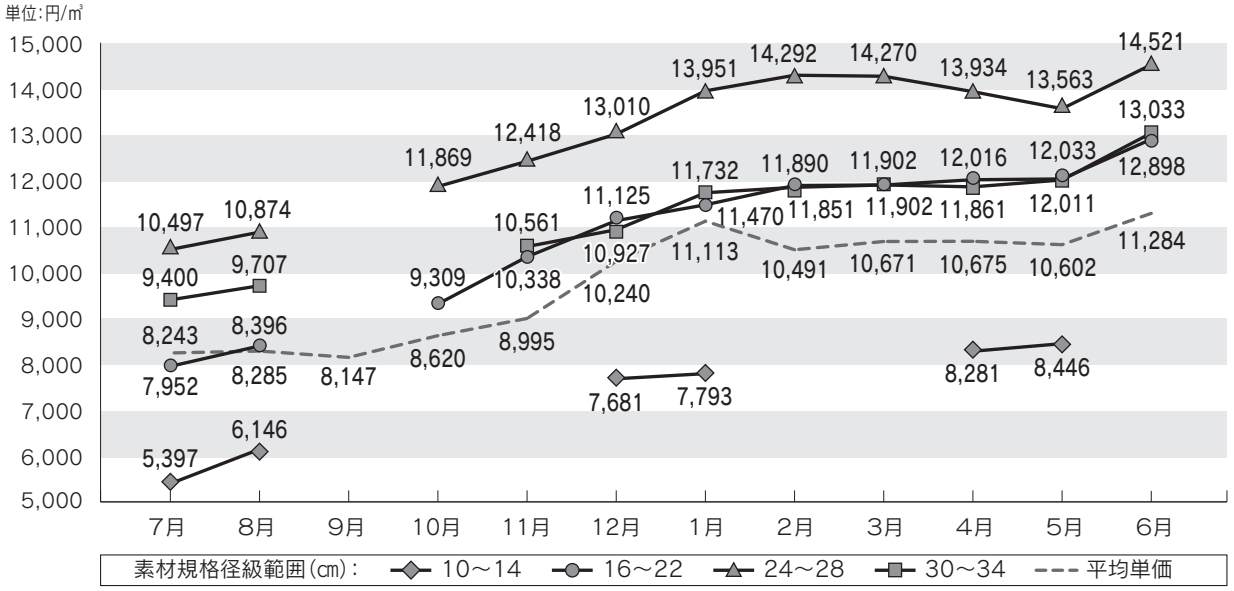
〈共販概況〉

1．価格状況：全体の平均販売単価は11,284円であった。主要４規格の単価は例年以上の単価を維持している。今後は出材量が減ってくるためこの状況が続くと見込まれる。

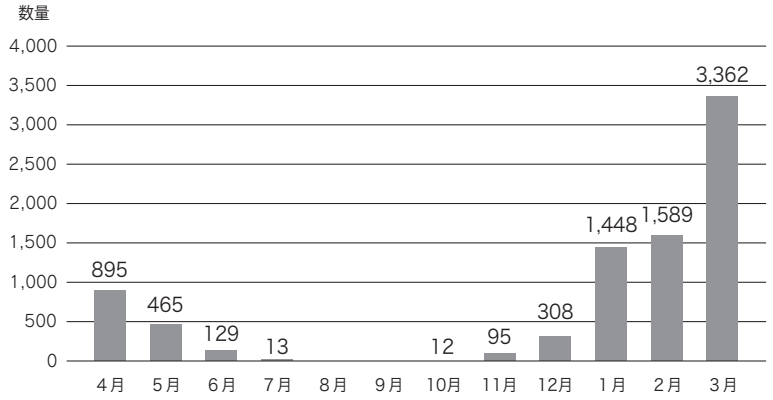
2．需要状況：ウッドショックの影響により国産原木の価格が高騰している、しばらくこの状況が続きそうである。

3．入札状況：入札に付した25物件に12社が応札し、全量落札、１物件当たりの平均応札枚数は3.6枚であった。

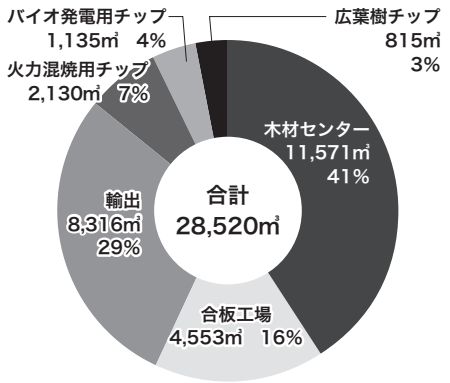
木材流通センター主要規格材の平均販売単価推移（昨年７月から本年６月まで）



令和２年度　能代港への輸出用原木出荷実績



令和２年度　素材の出荷先別割合（林業公社含まず）



国内最大手の中国木材が能代へ!!

国内最大手の製材会社である「中国木材」（本社・広島県呉市）が、能代市に進出するための基本協定を同市と締結した。

新工場は、能代工業団地内の分譲地27haを活用して建設する計画で、従業員180名を見込み、内140名程度を地元雇用し、令和6年4月からの本格稼働に向けて動き出した。

同社によると、能代市への進出の決め手として、米代川流域に豊富にある原木と国内外への拠出拠点となる能代港があることを挙げ、秋田県はスギ人工林面積が日本一だが、伐採量は宮崎に次ぐ2位であり、素材供給への大きな可能性があると判断、これまでは米国産材に頼ってきたが、価格高騰などを背景に供給力に問題があると考え、国産材をしっかりと使っていきたいという方針を立てた。スギは蓄積があるにもかかわらず、成長する量に追いつかない程度の生産しかできておらず、この資源を活かしたい。と考えたとの事であった。

又、同社は、再造林にも言及し、原木のグレードに応じた適正価格で購入し、山元にお金が残る仕組みづくりに取り組みたい。とも話し、全国的な課題でもある、再造林の推進にも理解を示している。

私共、森林所有者にとって、地元に木材の供給先が増えることは喜ばしいことであり、需要が増えればそれが価格に反映され、山元の森林所有者へのお金が増えると再造林も進み、それが森林資源の循環にも繋がっていく。

県産材の販路拡大、再造林の推進、減り続ける林業労働者の確保という、秋田の林業が抱える課題が、中国木材の進出によって、大きく改善される可能性があると期待している。

能代市で講演する
中国木材 石橋取締役

森林整備事業での活躍に期待!! ドローン導入!!

事業現場等の撮影用カメラとして撮影用ドローンを一台購入しました。現場の事前調査や現場の進捗状況の把握など多岐にわたっての活用が期待されます。

今回購入した機種（MAVIC Air2 More Combo）はエントリーモデルですが、ジャイロセンサーや気圧センサーなど多種のセンサーを搭載しており、初心者でも扱いやすいとのことです。

また、ドローンの導入に伴い今年5月には組合職員8名が大館市雪沢地区の東光鉄工㈱※UAV事業部において操縦方法、機体の機能、環境による影響、法令などについて研修を受講し、屋外演習場にて操縦体験等をしてまいりました。

※UAV…
unmanned aerial vehicle：
無人航空機

購入機による下刈事業現場の空撮

購入機を持参しての研修（大館市雪沢地区）

購入機：MAVIC Air2

第55回 秋田県林業経営コンクール表彰者

林業経営の部

優良賞（秋田県森と水の協会長賞）

加藤　徳良（藤里町）

森林整備推進功労の部

秋田県知事感謝状

寺沢共有林（八峰町）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため表彰式は中止となりました。

新採用 技能職員の紹介 頑張ってます！

森　崇太郎

この春、高校を卒業しました森崇太郎です。趣味はサイクリングや映画鑑賞です。私は理系の植物に興味があり、なおかつ自然の中で仕事をしたいと考え、この職場に就職しました。二か月間仕事をさせて頂き、自然相手の仕事であり常に危険と隣り合わせという事のほかに、天候の変化など現場の状況変化に臨機応変に対応していく能力も問われると感じました。現場では地元愛溢れる能代弁が飛び交い、活気に満ち溢れて毎日新しい発見がありとても楽しいです。作業に用いる道具も様々で初めて使うものばかりです。道具を大切に安全に使うことで仕事の能率に直結していくという事も指導して頂いています。刈払機やチェーンソーの講習も受講させていただきありがとうございます。安全に怪我無く使用していける技術を身に付けていきます。これからも先輩方の仕事の技術を学び、現場の戦力になれるよう頑張っていきますので、今後ともご指導よろしくお願いいたします。

安井　勇介

私は、以前、建設業に十六年ほど従事しておりました。チェーンソー、刈払機などは、多少は使用しておりましたが、林業という仕事は経験がなく初めての仕事になります。

この春から仕事を始めて約二か月半経ちますが、初めての仕事や見たことのない仕事が多く、今はまだ足を引っ張らないように、仕事を確実に覚えながら、ついていくのがやっとです。

私に指導をしてくださる指導員の方や先輩方は、時に優しく時に厳しく仕事に対する姿勢や安全に対する意識などを指導してくださり、仕事や安全に対する意識の高さを感じながら仕事に取り組んでいるところであります。

この先も常に仕事や安全に対する高い意識を持ちながら、高い技術を身につけて頑張りたいと思います。

五期連続の出資配当

総代会において、全組合員に対し出資金の２％の配当について承認をいただきました。これも偏に組合員の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

「出資配当及び出資金証明書」は大切に保管してください。

組合員登録内容の変更には届出が必要です

『組合員』のお名前、住所など
変更についてご連絡お待ちしております。

☎0185-54-9300

ホームページにも各種届出について掲載されております。